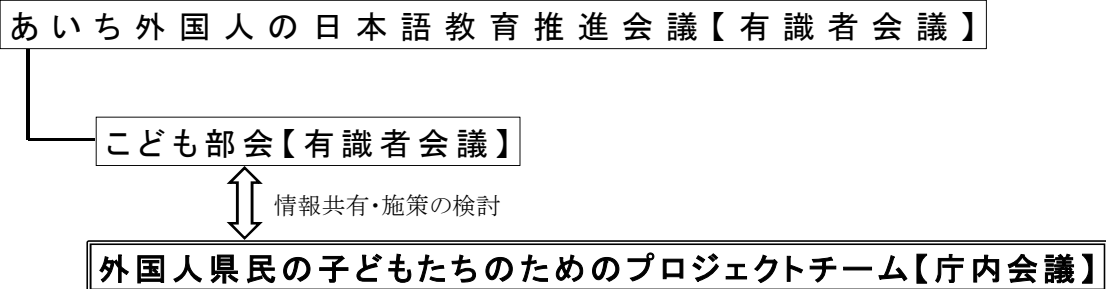


外国人県民の子どもたちのためのプロジェクトチームについて

外国人県民の子どもたちのためのプロジェクトチームの位置付け

多文化共生推進室では、外国人県民向け日本語学習の関係者による、「**あいち外国人の日本語教育推進会議**」を開催し、日本語教育を取り巻く状況の把握や課題解決に向けた意見交換等を行い、愛知県における日本語教育を推進している。また、外国人の日本語教育における課題は子どもと大人で異なることから、「**こども部会**」を設置している。

外国人県民の子どもたちのためのプロジェクトチームは、推進会議の「こども部会」と、お互いに情報共有を行いながら、施策の充実に向けて検討を行う庁内会議として、設置する。



プロジェクトチーム内の検討事項①

番号	項目	内容
28	外国人県民の子どもたちのためのプロジェクトチームの設置	外国人県民の子どもたちに対する施策を総合的・体系的に実施するため、関係部局から成るプロジェクトチームを設置します。また、有識者やNPOなどの関係者からの意見も取り入れながら、「教育機会均等法」の趣旨を踏まえ、施策の充実に向けて検討するとともに、乳幼児期から高等学校卒業までの切れ目のない支援のため、情報共有する仕組みについて検討します。
29	乳幼児期から高等学校卒業までの制度・支援策の一覧などの作成	外国人県民が乳幼児期から高等学校卒業までの制度や支援策を把握できるよう、一覧などを作成します。
3	子育て支援策を外国人県民につなげるための方策の検討	子育て支援策を外国人県民につなげるための方策について、「外国人県民の子どもたちのためのプロジェクトチーム」(28番参照)で検討を行います。

プロジェクトチーム内の検討事項②

番号	項目	内容
23	外国人県民の子どもに対する就学に向けた取組の推進	不就学になった後の進路の選択肢一覧を作成して配布したり、日本の教育制度や進学に関する情報提供などを行うことにより、不就学の子どもや保護者の就学意識・意欲を高める働きかけを行うとともに、関係部局と連携して、不就学の実態を把握し、解消に向けた取組を検討・実施します。
52	高等学校に通い続けるためのサポートの検討	高等学校に進学した外国人生徒の実態などを把握するとともに、どんなサポートが必要か「外国人県民の子どもたちのためのプロジェクトチーム」(28番参照)で検討を行います。
30	発達障害の可能性のある子どもへの対応の検討及び勉強会などの開催	発達障害の可能性のある子どもに対する適切なアセスメントや通訳、実態把握の方法などを検討します。また、当面、どのような対応が最善なのかを関係者間で共有するため、支援者と連携しながら、事例発表や勉強会などの機会をつくるとともに、ネットワークをつくっていきます。

今後のスケジュール

- ・「あいち外国人の日本語教育推進会議(こども部会)」の開催
→プロジェクトチームでの意見交換等の内容を報告 (3月20日開催)
- ↓
- ・あいち外国人の日本語教育推進会議(全体会)の開催
→こども部会での意見交換等の内容を報告 (平成31年度)
- ↓
- ・「外国人県民の子どもたちのためのPT(第2回)」の開催
→上記2つの会議の内容を報告、具体的施策の検討 (平成31年度)